

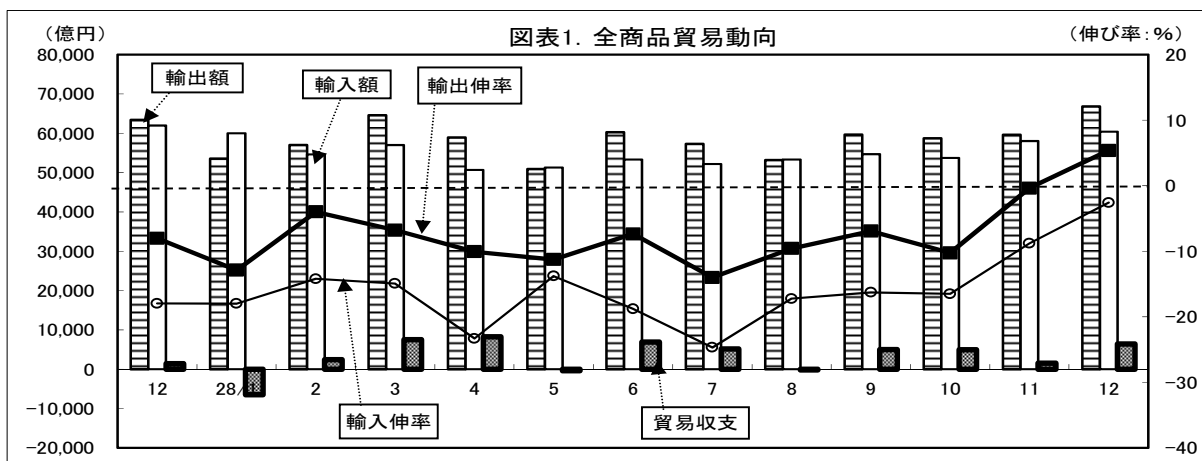
## 「最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出伸び率 15ヶ月ぶりにプラス～」

日本機械輸出組合 2017.2.16.

平成28年12月の機械輸出額は4兆3,548億円、対前年同月比4.8%増と、15ヶ月ぶりにプラスとなった。これは、①韓国・台湾、中国向けが大きくプラスとなったこと、②自動車をはじめ、主要な21輸出業種のうち13業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.4%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は9.6%増となった。平成29年1月の為替・営業日要因は3.3%の減少寄与要因となっているが、2月8日発表の貿易統計速報によれば1月上旬の全商品輸出は6.5%増であった。

### 1. 全商品貿易動向～輸出は15ヶ月ぶりプラス、輸入は24ヶ月連続でマイナス～

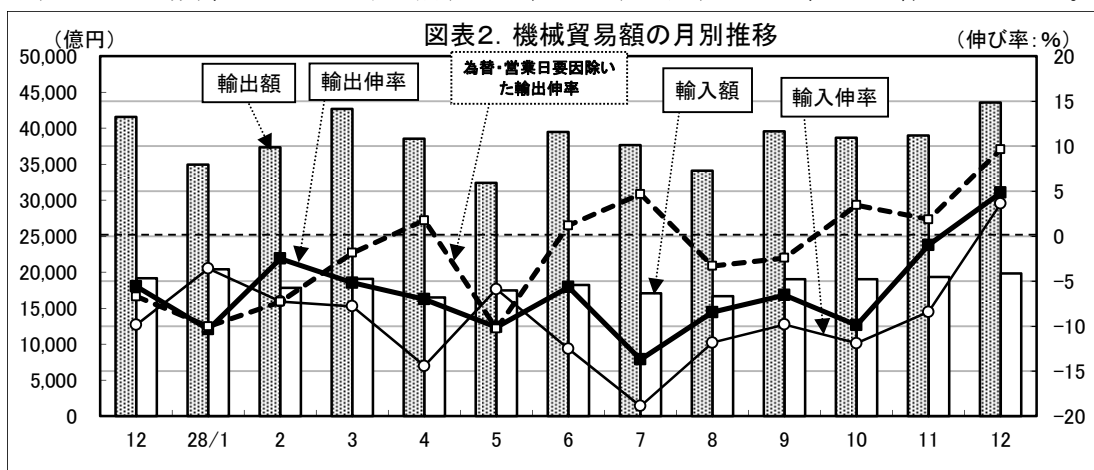
- 平成28年12月の全商品輸出額は**6兆6,793億円**、前年同月比(以下同じ)**5.4%増**と15ヶ月ぶりにプラスとなった(11月0.4%減)。これは、全輸出額の約20%を占める一般機械(8.9%増)、18%の電気機器(9.2%増)、10%のプラスチック等化学製品(4.0%増)等がプラスとなったためである。
- 輸入額は**6兆389億円**、**2.6%減**と24ヶ月連続でマイナスとなった(11月8.8%減)。これは、全輸入額の約22%を占める原油等鉱物性燃料(4.8%減)、10%を占める医薬品等化学製品(8.0%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(3.9%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、6,404億円と4カ月連続の黒字となった。(11月は1,508億円の黒字)。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は15ヶ月ぶりにプラス～

- 全商品輸出額の約65%を占める12月の機械輸出額は**4兆3,548億円**、**4.8%増**と15ヶ月ぶりにプラスとなり(11月1.0%減)、その水準は、リーマンショック前(2007年11月)と比べると**85.2%**となって、前月に比べて7.7ポイント改善した(11月77.5%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は9.6%増**であった。
- 一方、全商品輸入額の約33%を占める機械輸入額は、**1兆9,833億円**、**3.6%増**と14か月ぶりにプラスとなり(11月8.4%減)、リーマンショック前(2007年12月)の水準に比べ、18.4%増となっている。

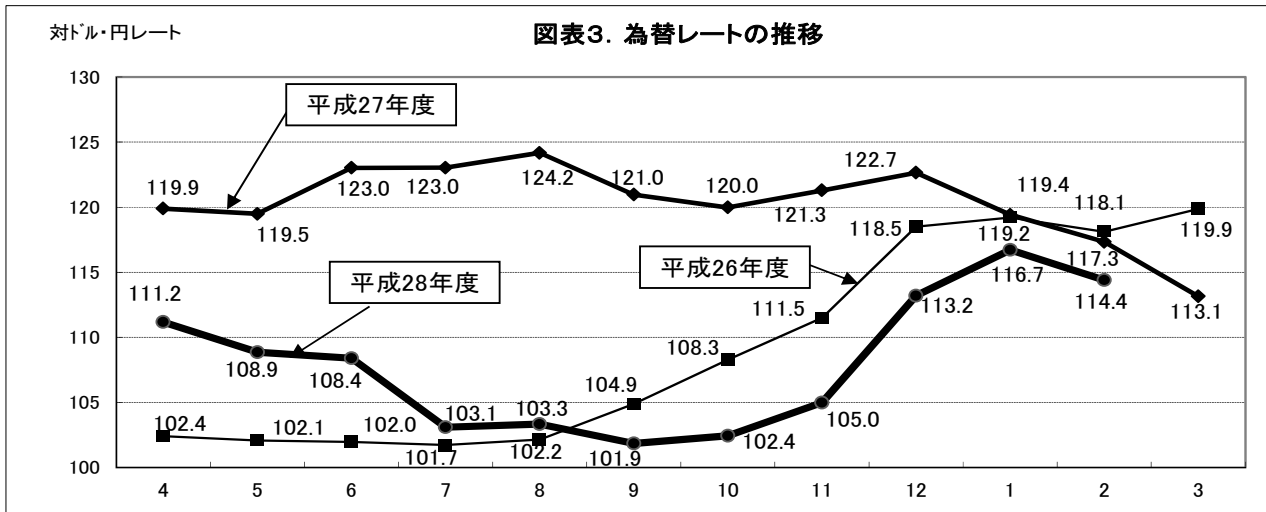


(2) 為替・営業日動向～12月は4.4%の減少要因、1月は約3.1%の減少要因～

1) 12月は1ドル=113.2円となり、前年に比べ7.7%の円高となった。また、対ユーロは120.8円と前年に対して8.5%の円高となり、合わせて約4.4%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約4.4%の減少要因となる。12月の輸出額は4.8%増であったことから、実質的伸び率は9.6%増と3ヶ月連続でプラスとなった(11月1.9%増)。

2) 2017年1月は1ドル=116.7円で前年比2.3%の円高、対ユーロは122.4円で前年比6.0%の円高となり、合わせて約1.5%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日少なく、約1.8%の減少要因となり、合計で約3.3%の減少要因となる。

3) 2017年2月は、対ドルが2月15日17:00時点の114.4円とすれば、前年に比べて2.5%の円高、また、対ユーロは121.0円で6.4%の円高となり、合わせると約1.7%の為替減少要因となる。営業日は前年と同じであるが、春節の影響で中華圏の営業日は前年に比べて1日多く、約2.3%の増加要因となり、合計で約0.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾、中国向けが大きくプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.5%を占める最大輸出先の北米向けでは、産業機械(4.3%減)や航空機部品(23.3%減)等が減少したものの、全体の56%を占める自動車(10.6%増)が増加して2.9%増となった。②22.6%を占める中国向けでは、産業機械(18.0%増)、自動車(20.5%増)、電子デバイス(23.0%増)等がプラスとなって15.6%増となり、③14.4%のASEAN・南アジア向けは、インド(6.8%減)、タイ(1.2%減)がマイナスとなったものの、フィリピン(9.9%増)、シンガポール(9.7%増)等がプラスとなり、業種では、全体の25%を占める自動車(2.6%減)、産業機械(7.5%減)等がマイナスとなったものの、電子デバイス(18.0%増)、配電機器等軽電気機械(10.1%増)がプラスとなり、3.2%増となった。④12.0%を占めるEU向けは、39%を占める自動車(9.4%減)、理化学用機器等軽機械(1.4%減)等がマイナスとなったものの、産業機械(15.0%増)がプラスとなって2.2%減となり、⑤11.3%を占める韓国・台湾向けは、半導体製造装置等産業機械(65.4%増)、電子デバイス(13.6%増)等が大きく増加して28.0%増となった。⑥13.1%のその他地域向けでは、中近東(29.1%減)、中南米(9.6%減)向け等が大きくマイナスとなり、機種では、66%を占める自動車(13.2%減)、産業機械(6.6%減)、船舶(36.6%減)が大きくマイナスとなって12.4%減となった。

2) また、リーマンショック前の2007年12月の地域別輸出額と比較すると、中国、韓国・台湾向けが100%を超え、ASEAN・南アジア、北米向けが90%台、EU、その他地域向けが60%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2016/10			2016/11			2016/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,662	▲ 9.9	100.0	38,978	▲ 1.0	100.0	43,548	4.8	100.0	0.85
北米	10,116	▲ 9.5	26.2	10,378	0.1	26.6	11,555	2.9	26.5	0.91
中国	8,115	▲ 11.1	21.0	8,448	6.2	21.7	9,854	15.6	22.6	1.09
ASEAN・南アジア	5,521	▲ 10.9	14.3	5,630	▲ 0.7	14.4	6,278	3.2	14.4	0.96
EU	4,665	▲ 9.7	12.1	4,478	▲ 4.5	11.5	5,234	▲ 2.2	12.0	0.62
韓国・台湾	4,090	1.7	10.6	3,981	12.2	10.2	4,941	28.0	11.3	1.00
その他	6,155	▲ 14.5	15.9	6,064	▲ 15.1	15.6	5,685	▲ 12.4	13.1	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2016/9		2016/10		2016/11		2016/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,086	9.3	2,027	2.4	2,095	25.5	2,547	33.9
台湾	2,158	7.9	2,062	0.9	1,887	0.3	2,394	22.3
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,532	▲ 10.0	1,514	▲ 11.4	1,490	▲ 6.0	1,618	▲ 1.2
シンガポール	795	▲ 26.7	718	▲ 28.4	786	▲ 3.9	972	9.7
インドネシア	661	▲ 0.2	600	1.5	640	10.4	642	1.5
マレーシア	635	▲ 4.5	618	▲ 10.5	617	4.2	685	0.2
フィリピン	645	▲ 0.8	639	▲ 0.4	613	▲ 3.4	655	9.9
ベトナム	628	▲ 3.6	679	3.7	657	4.1	757	7.7
インド	484	21.6	370	▲ 10.3	431	4.6	475	▲ 6.8
パキスタン	156	15.9	158	▲ 4.7	147	10.9	181	13.2
<b>その他地域</b>								
中南米	2,346	1.5	1,771	▲ 12.6	1,797	▲ 16.2	1,634	▲ 9.6
中近東	2,066	▲ 11.3	1,757	▲ 28.2	1,827	▲ 28.5	1,763	▲ 29.1
大洋州	1,098	▲ 12.9	1,211	▲ 2.9	1,018	▲ 17.3	993	3.3
ロシア東欧等	945	▲ 1.0	987	3.8	795	1.6	787	4.1
アフリカ	525	▲ 14.0	467	▲ 19.9	603	36.6	460	1.5

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中13業種がプラスとなり、うち二桁増が4業種～

- 1)業種別では、21業種中13業種がプラスとなり、前月に比べて4業種増加した。業種では、全体の約37%を占める自動車(0.6%増)の他、産業機械(14.0%増)、電子デバイス(15.1%増)、軽電気機械(10.1%増)、船舶(18%増)の4業種が二桁増となり、機械全体で4.8%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械、産業機械の7業種となった(11月は4業種)、他方、電子計算機、産業車両、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2016/10			2016/11			2016/12			対07/12比
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	
自動車	14,410	▲ 8.6	自動車	14,794	▲ 3.9	自動車	15,899	0.6	0.86
産業機械	6,723	▲ 2.4	産業機械	6,683	5.7	産業機械	8,097	14.0	1.01
電子デバイス	3,161	▲ 7.1	電子デバイス	3,121	6.8	電子デバイス	3,463	15.1	0.80
軽電気機械	2,030	▲ 10.1	軽電気機械	1,991	3.7	軽電気機械	2,337	10.1	0.85
重電気機械	1,880	▲ 9.6	重電気機械	1,869	4.9	重電気機械	2,131	9.7	0.96
軽機械	1,527	▲ 12.5	軽機械	1,543	▲ 0.9	軽機械	1,752	▲ 3.1	1.21
民生用電子機械	1,408	▲ 18.8	民生用電子機械	1,358	▲ 4.6	民生用電子機械	1,604	9.6	0.49
光学機械	1,236	▲ 14.6	光学機械	1,225	▲ 8.7	光学機械	1,448	4.5	1.07
船舶	1,011	▲ 14.6	船舶	1,191	3.2	建設機械	963	7.1	0.62
建設機械	848	▲ 1.5	建設機械	865	10.6	船舶	836	18.0	0.51
航空機部品	681	▲ 19.5	航空機部品	631	▲ 13.1	航空機部品	667	▲ 16.4	1.94
通信機械	615	▲ 32.2	通信機械	589	▲ 16.7	工作機械	663	▲ 7.0	0.77
工作機械	554	▲ 28.7	工作機械	525	▲ 16.0	通信機械	645	5.3	0.62
電子計算機	409	▲ 19.9	医療機械	423	▲ 8.3	医療機械	525	▲ 4.2	1.09
医療機械	427	▲ 5.2	電子計算機	406	▲ 10.1	電子計算機	459	▲ 10.9	0.42
ベアリング	361	▲ 16.1	ベアリング	369	0.6	ベアリング	415	2.3	1.17
陸用内燃機関	312	▲ 10.3	陸用内燃機関	325	5.5	陸用内燃機関	397	9.7	0.91
繊維機械	175	▲ 6.0	繊維機械	183	▲ 3.2	繊維機械	220	1.0	0.76
農業機械	174	▲ 33.0	農業機械	158	▲ 18.0	農業機械	197	▲ 3.2	0.81
鉄道車両	120	85.6	産業車両	115	▲ 4.5	鉄道車両	127	▲ 8.5	1.28
産業車両	111	▲ 22.1	鉄道車両	112	66.0	産業車両	107	▲ 17.1	0.47
21業種合計	38,173		21業種合計	38,477		21業種合計	42,952		0.85

はリーマンショック前の水準を超えたもの。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

**(5)機種別動向～半導体製造装置、配電機器、電動機等が大幅増、産業車両等が大幅減～**

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(56.6%増)、②中国、ASEAN・南アジア向け**配電機器**(26.5%増)、③中国、北米、韓国・台湾向け**電動機**(24.9%増)、④EU、北米向け**産業用ロボット**(24.7%増)、⑤中国、北米向け**デジカメ・ビデオ**(22.9%増)、⑥中国向け**その他の配電制御装置**(18.0%増)、⑦ASEAN・南アジア、中国、その他地域向け**船舶**(18.0%増)、⑧中国、北米、韓国・台湾向け**電気・電子計測器**(15.4%増)、⑨中国、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け**電子デバイス**(15.1%増)、⑩中国、韓国・台湾向け**バルブ・コック**(15.1%増)であった。

2)一方、産業車両(17.1%減)、TV (16.6%減)、をはじめ、マイナス伸び率上位 7 機種すべてが二桁の大幅な減少であった。

**図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)** (単位:億円、%)

2016/10			2016/11			2016/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
鉄道車両	120	85.6	鉄道車両	112	66.0	半導体製造装置	2,291	56.6
半導体製造装置	1,618	35.5	原動力機械	540	29.6	配電機器	634	26.5
機種合計	1,738	* 4.5%	半導体製造装置	1,532	25.3	電動機	181	24.9
			産業用ロボット	160	19.6	産業用ロボット	183	24.7
			配電機器	551	18.7	デジカメ・ビデオ	372	22.9
			電動機	144	16.1	その他の配電制御装置	944	18.0
			電気・電子計測器	391	16.0	船舶	836	18.0
			建設機械	865	10.6	電気・電子計測器	484	15.4
			機種合計	4,295	* 11.0%	電子デバイス	3,463	15.1
						バルブ・コック	455	15.1
						機種合計	9,843	* 22.6%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器  
 理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター  
 その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器:部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

**図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)** (単位:億円、%)

2016/10			2016/11			2016/12		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	299	▲ 41.1	発電機	64	▲ 27.9	産業車両	107	▲ 17.1
発電機	69	▲ 35.1	受信変換その他送受信機器	121	▲ 27.2	TV	106	▲ 16.6
農業機械	174	▲ 33.0	通信機械部分品	287	▲ 23.2	航空機部品	667	▲ 16.4
磁気カード・ディスク等	142	▲ 33.0	貨物自動車	698	▲ 18.6	貨物自動車	748	▲ 13.2
受信変換その他送受信機器	125	▲ 32.8	農業機械	158	▲ 18.0	時計	93	▲ 12.3
貨物自動車	680	▲ 29.6	磁気カード・ディスク等	143	▲ 16.8	電子計算機	459	▲ 10.9
工作機械	554	▲ 28.7	TV	91	▲ 16.2	磁気カード・ディスク等	164	▲ 10.0
ベアリング	361	▲ 25.1	工作機械	525	▲ 16.0	機種合計	2,344	* 5.4%
時計	84	▲ 25.1	航空機部品	631	▲ 13.1			
金属加工機械	231	▲ 24.6	写真機の部分品・附属品	130	▲ 11.6			
機種合計	2,719	* 7.0%	機種合計	2,848	* 7.3%			

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

**(6)機械輸入動向～航空機・部品等、携帯電話、乗用車等が大きく増加～**

1)12月の機械輸入伸び率は3.6%増と14ヶ月ぶりのプラスとなった。上位12機種のうち7機種がプラスとなり、そのうち航空機・部品等(82.1%増)、携帯電話(22.6%増)、乗用車(20.2%増)、受信変換その他送受信機器(15.6%増)が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、電子デバイス(5.7%減)、医療機械(6.4%増)をはじめ5機種がマイナスであった。

2)なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信機器、TV、時計の8機種となっている。

3)地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(15.6%増)、EU(17.7%増)、ASEAN・南アジア(1.1%増)、北米(10.4%増)、韓国・台湾(0.8%増)、その他地域(9.3%減)の順であった。

**図表9. 機械輸入額上位12機種** (単位:億円、%)

2016/10				2016/11				2016/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
携帯電話	2,412	▲ 3.3	12.7	電子デバイス	2,053	▲ 16.4	10.6	電子デバイス	2,246	▲ 5.7	11.3
電子デバイス	1,992	▲ 20.9	10.5	電子計算機	1,778	▲ 3.5	9.2	電子計算機	1,983	0.8	10.0
電子計算機	1,565	▲ 11.2	8.2	携帯電話	1,560	▲ 5.9	8.1	航空機・部品等	1,475	82.1	7.4
自動車部品	1,153	▲ 2.9	6.1	自動車部品	1,225	▲ 2.0	6.3	携帯電話	1,247	22.6	6.3
航空機・部品等	1,107	▲ 13.8	5.8	航空機・部品等	1,187	9.6	6.1	乗用車	1,141	20.2	5.8
乗用車	928	1.2	4.9	乗用車	930	▲ 8.7	4.8	自動車部品	1,118	▲ 0.2	5.6
医療機械	608	▲ 5.6	3.2	医療機械	678	▲ 1.9	3.5	白物家電	697	▲ 3.7	3.5
白物家電	606	▲ 12.8	3.2	白物家電	673	▲ 14.9	3.5	医療機械	673	▲ 6.4	3.4
受信変換その他送受信	522	▲ 4.0	2.7	受信変換その他送受信	565	1.1	2.9	受信変換その他送受信	626	15.6	3.2
配電機器	499	▲ 8.2	2.6	配電機器	529	▲ 12.3	2.7	配電機器	540	▲ 2.0	2.7
その他の配電制御装置	379	▲ 7.3	2.0	その他の配電制御装置	401	▲ 7.3	2.1	その他の配電制御装置	407	7.5	2.1
コンデンサー等部分品	349	▲ 7.1	1.8	コンデンサー等部分品	388	3.1	2.0	コンデンサー等部分品	367	0.6	1.9
12機種合計	12,120		63.7	12機種合計	11,967		61.9	12機種合計	12,520		63.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等